

東日本大震災復興支援 第45回全国ミニバスケットボール大会

田布施ミニバスケットボールスポーツ少年団 中本靖則

平成26年3月28日(金)の朝、ホテルから代々木体育館に歩いて到着。とうとうこの日がやって来ました。昨年11月下旬に全国大会の出場を決めて以来、長いような短いような4か月間でした。盛大な開会式の後、各コートで試合が始まりました。田布施ミニは、この日試合が組まれていません。初めての全国大会や代々木体育館の雰囲気に浸りながら、明日対戦する「岩手県」対「長野県」及び有名チームの試合を観戦しました。

大会2日目 夢の舞台に立つ時がきました。

3月29日(土) [Dブロック予選リーグ]

対 一関ミニバススポーツ少年団(岩手県) 31 - 22

対 松本南部(長野県) 49 - 30

初戦は、相手が強かったことや慣れない会場の雰囲気もあり、なかなか思うように点が取れませんでした。しかし、ディフェンスが安定していたので、接戦を制することができました。2試合目には、子どもたちにいつもの調子に戻ってきて、危なげなく試合をすることができました。

大会最終日 勝負の日です。

3月30日(日) [決勝トーナメント]

準決勝 対 中津北部ブルーフェアリーズ(大分県) 55 - 30

サイズがあり、よく練習しているチームだと感じました。試合内容は、子どもたちがよく頑張って前半からリードを奪い、終始田布施のペースで試合ができました。

《決勝戦》 対 桐生西小ミニバスケットボールクラブ(群馬県) 57 - 45

全国大会に行くまでに、親しいチームから「優勝」「優勝」と言われ、少なからずプレッシャーを感じていました。でもここまで来ると、やはり、なにが何でも「優勝しかないでしょ」と思いました。しかし、相手は強敵です。1Qから大差をつけて、余裕で決勝まで上がってきました。難関は、1Qに出てくる絶対エースの#4です。

子どもたちが、1Qから良いバスケットをしてくれました。指示どおり、相手のエースをダブルチームで止め仕事をさせません。2Qではプレスをかけ、20点位リードを奪いました。後半少し追い上げられましたが、最後まで落ち着いて試合ができました。

全国大会「優勝」です。「いつかは全国大会へ」「いつかは全国優勝」と、ずっと言ってきましたが、やっと夢が叶った瞬間でした。

すごく嬉しかったですが、責任を果たせて「ほっ」とした部分もありました。

今回全国大会に出場するにあたって、いろいろな方々に、激励・ご支援を賜りました。この場をかりて、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



代々木体育館内モニターの前で



表彰式の後で

東日本大震災復興支援
第45回全国ミニバスケットボール大会に出場して

田布施ミニバスケットボールスポーツ少年団

#4 伊与政希実

私たちは、新チームが結成されて、日頃の練習を頑張ってきました。秋の県決勝大会では、みんなで助け合い声を掛け合いながら、優勝することができました。そして、全国大会出場が決まりました。今まで一緒に戦ってきたチームのみんなや、保護者、指導者の皆さんであの東京の代々木体育館に立てると思うと、ものすごくわくわくしました。

全国大会の開会式では、思っていた以上に人数が多くてすごく緊張しました。そして、大会初戦の相手は岩手県代表です。相手はすごくスピードが速かったですが、みんなでそこを乗り越えて、自分たちのバスケットで勝つことができました。2試合目は長野県代表で、最後まであきらめずにボールを追い続け勝つことができました。その結果、決勝トーナメントに進出できてとても嬉しかったです。

そして決勝トーナメント、準決勝で大分県代表に勝ち、決勝戦では群馬県代表です。この決勝戦は、今までやってきたミニバスで最後の試合でした。みんなを信じ、最後まであきらめずに頑張ったので優勝することができました。これも、たくさんの方々が応援してくださったおかげです。そして、チームのみんな、保護者、指導者の皆さんと最後に「優勝」という良い思い出ができました。

今まで支えてくださった保護者、指導者、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



岩国錦帯橋空港にて